



横尾 美香さん
佐賀県佐賀市
四季彩ホテル千代田館

自分が飽きらんように

色白で着物姿がしつとりと美しい福岡の小林さんからバトンをいただきました佐賀県の横尾美香です。

県庁所在地ではあるものの特別な観光素材はなく、強いて言えば空が広くて近いこと。そんな佐賀市内にある

当館で仕事を始めて17年が経とうとしています。もともとは祖父母が創業し叔母の代へと替わり48年間、繁華街近くで営業を続けてき

ました。現在の場所に移転してからは丸10年になります。私が幼稚園の年中だったころに母の喘息が悪化し、母の実家である千代田館に家族ぐるみで引っ越してきまし

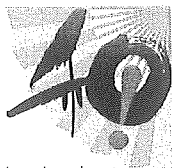
た。高校卒業まで旅館の中で何の苦勞も不自由もなく、むしろわがまま放題に過ごさせてもらいました。たくさんの方が集まって来るのが大好き！で、バタバタと忙しい日々を送るのも大好きな性格です。新館建設の話聞いた時はワクワク感いっぱい、東

京でのOL生活を卒業し、佐賀に帰ってきてしまいました。ところが旅館の中で育ったとはいえ、仕事となると分らないことばかり。失敗しては落ち込み、お褒めの言葉に舞い上がり毎日一喜一憂を繰り返していた記憶があります。

JKK入会のきつかけは、JKKの生みの親、小原顧問のお宿で開かれた定例会にオブザーバーとして参加させていただいたことで

宿泊業は装置産業のため、ハード面にお金がかかります。またお客様の都合に合わせるため拘束時間も長く、バックヤードではなかなかの重労働もあります。形態は違えども、そんな同じような環境に身を置く超パワフルな方々との出会いはとてもありがたいものでした。このご縁は、これからも大切にしたいと思っています。

次は鹿児島県の北野さん。細やかな心配りと可愛らしい鹿児島弁が気持ちほっこり和ませてくれる女性です。



40.をもつてJKK
全旅連・女性経営者の会
Vol. 35
リレーコラム